議会報告会　会場報告書

担当班：1 班　　班代表者：　　渡辺　拓道

概要			
地区名　：後川地区 日時　　：令和 4 年 5 月 24 日（火） 19：30～：20：32 場所　　：後川公民館 参加人数：12 人(男 12 人･女 0 人)	【出席議員】 渡辺拓道 上田英樹 大西基雄 原田豊彦 園田依子	（1）開会あいさつ　：渡辺 拓道 （2）議会報告　　：DVD 参照 （3）質疑応答　　：下記参照 （4）意見･提言等　：下記参照 （5）閉会あいさつ　：大西 基雄	挨拶･総括　　：渡辺 拓道 司会進行　　：上田 英樹 報告　　：大西 基雄 記録　　：原田 豊彦 会場（マイク）　：園田 依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
･コロナ禍でお葬式も家族葬。田舎ならではの文化が失われているような気がする。後川の「ふるさと後川夏祭り」も 2 年間やってないが、デカンショ祭の開催方針では追随できない。市から指針を示してもらった方が丹波篠山市を盛り上げやすいのではないか。	･お葬式に関して、身内より親しくしてきた方にお別れができないのは何とかならないかと考えているところですが、ご遺族が決められることなので行政が介入することはできませんが、強く共感しています。 ･デカンショ祭振興会の総会に出席し、「今年は是非やって欲しい。」とお願いしたところです。

	開催することになりましたが、会場内でアルコールは禁止、露天商は通常の半分に制限される予定です。 ・イベントのガイドラインについては、かつて感染症対策を踏まえた総会の開催方法などを市側から示した実績もあるので、何かしらのガイドラインについて行政側に考えてもらうよう申し入れたいと思います。
・市長の「ふるさと一番会議」でも常々言って来たが、過疎の問題は大きい。市長は阪神間に近く利便性が良いと言ってくれるが、やっぱり丹波篠山市の中心は城下町地区。そこへのアクセス向上の為にも城東トンネルは要望し続けたい。城東支所に消防出張所を設け、医療救急対策を充実してほしい。	・行政には地域の課題をきちんと把握した上での過疎計画の策定と、計画における交付金など、有利な制度活用をお願いしています。可能かどうかはわかりませんが、救急や医療の問題を地域の熱い思いとして本計画においても方向性を見出してほしいと思います。 　日置地区の議会報告会でも新城東トンネルの意見が出されましたが、この問題は後川や日置だけではなく、市全体の問題であり、先ずは県の計画に載せてもらうことが重要です。
・議会報告会で色んな意見をお伝えしており、即答できないことは解っているが、ここで出された質問は関係機関に繋いでもらって、経過報告はきちんとフィードバック欲しい。市民が「言いっぱなし」にならないようにしてほしい。	・頂戴した意見は、班の記録係がきちんと記録することになっています。その記録を議会全体で共有し、後日報告書を作成し、自治会長会会長とまち協会長に報告しています。また、行政に繋いだ後、繋いだままにせずに、その後の進捗状況や経過を確認し、その報告が可能か否か、議会報告会のあり方について議論をさせていただきたいと思います。
・支所に地域振興の課長がいてくれているが、何か改革があったのか。	・地域の課題にきめ細やかに対応する為に、課長と副課長級の職員を支所に配置する機構改革を令和３年度から行っています。

	地元から当該職員に課題を一緒に考えてもらうよう動きかけをしていただいてもいいのでは と思っています。